

Ibaraki Association of Architects & Building Engineers

けんちく茨城

No. 80 December, 2012

[特集]

第55回建築士会全国大会
「いばらき大会」報告



「いばらき」から再び、始まる。


[建築作品紹介]

ひたちなか市立那珂湊第二小学校



社団法人
茨城県建築士会

目次

[ごあいさつ]	60周年の節目の記念すべき大会が大盛況のうちに終幕しました。 社団法人 茨城県建築士会会長 柴 和伸	1
[特集(前半)] 第55回 建築士会全国大会「いばらき大会」		
	「いばらき」から再び、始まる。	
		
	大会式典	4
	妹島和世 記念講演会 in 県民文化センター	7
	徳川斉正 記念講演会 in 水戸芸術館	8
	茨城会セッション	9
	交流セッション	10
	大会スケジュール	14
[シリーズ]	先輩会員を訪ねて 清水 忠氏、市毛 純一氏 インタビュー	15
[建築作品紹介]	ひたちなか市立那珂湊第二小学校	16
[会員委員会報告]	日帰り見学会報告 秋晴れに大仏様も上機嫌!	18
	第5回ボーリング大会開催	19
	屋台村 in アートタワー	25
[特集(後半)]	大交流会	27
	地域交流見学会(エクスカージョン)	29

会報 **けんちく茨城**

題字 橋本 昌 茨城県知事

2012年12月 第80号

表紙写真 ひたちなか市立那珂湊第二小学校

設計・監理 (株)横須賀満夫建築設計事務所

所在地 茨城県ひたちなか市富士ノ上

建築面積 3,207.37㎡

延床面積 4,407.90㎡

敷地面積 15,469.09㎡

構造・規模 RC造・鉄骨造(地上2階)

木造(地上1階)

発行 平成24年12月12日(年3回発行)

次回発行 平成25年2月4日予定

発行部数 2,800部

発行所 社団法人 茨城県建築士会 会長 柴 和伸

〒310-0852 水戸市笠原町978-30 建築会館2F

TEL.029-305-0329 FAX.029-305-0330

Eメール kyy05413@nifty.com

編集 情報・広報委員会

デザイン 有限会社平井情報デザイン室

印刷所 株式会社あけぼの印刷社

60周年の節目の 記念すべき大会が 大盛況のうちに 終幕しました。

社団法人 茨城県建築士会
会長 柴 和伸



前日までのぐずついた天候がうそのように、朝から爽やかな秋晴れの空が広がった2012年10月19日、第55回建築士会全国大会「いばらき大会」が開催されました。

『常陸国いばらきで語ろう「60年の歩み」と「未来への創造」』をテーマに掲げた本大会は、建築士会が創立して60年目を迎える節目の大会にふさわしく、参加者同士が大いに議論し、懇親を深めあった大会になったと自負しています。

振り返ると、「いばらき大会」の準備は、一昨年の佐賀大会の前から大会実行委員会を立ち上げてスタートしました。中心となるメンバーの多くが佐賀大会に参加し、さまざまなことを参考にしながら準備を進めていましたが、2011年3月に発生した東日本大震災の影響で、その年の8月に開催予定であった大阪大会も急遽中止となり、また、ここ茨城においても会場に予定していた県民文化センターが大きく被災し、復旧の見込みも立たず、一時は開催自体が危ぶまれる状況に陥りました。が、県のご厚意により、なんとか大会開催に間に合う改修工事の予定が立ち、今年の夏ごろから、あらためて実行委員会を中心に本格的な準備を進めてまいりました。

いま、無事に終了した「いばらき大会」を振り返ると、いろいろな場面がたいへん印象深く思い出されます。

大会のハイライトである式典では、オープニング映像の後、オープニングアトラクションとして大洗高校のマーチングバンドの素晴らしい演奏が披露され、会場からアンコールの拍手をいただきました。

また、今回の「いばらき大会」では、震災の影響で参加者が減少することも予想され、できる限り大会の魅力を高めたいとの思いから記念講演を妹島和世氏、徳川斉正氏の二氏にお願ひし、2つの会場で開催する方法を試みましたが、両講演とも当日は会場に入りきれないほど多くの来場者があり、大盛況となりました。

もうひとつ、交流会についても、2カ所で開催する方式を採択しました。通常スタイルの大交流会に加え、水戸芸術館広場を会場に「屋台村 in アートタワー」と題した催しを開催、屋外で飲食しながらイベントを楽しむ場を提供して、こちらも大盛況でした。

われわれ茨城会からの発信としては、2011年3月の大震災による津波被害により流失してしまった北茨城市五浦にある六角堂の「復興プロジェクト」をセッションで取り上げました。映画「天心」の監督松村克弥氏による映像と、茨城大学教授の小泉晋弥氏の講演によって、岡倉天心ゆかりの六角堂を創建当時の姿に復元する様子と、21世紀に通じる岡倉天心の思想の魅力を伝える内容は、来場いただいた多くの方々にご満足いただけたことと思います。

皆様のお陰をもちまして、すべての行事を成功裏に終えることができました。エクスカッションが行われた翌日を含め晴天に恵まれたことは、参加された県外・県内からの3,000人を超える会員の皆様、すべての想いが実った結果であったと思います。

皆様のご協力・ご尽力に心より感謝申し上げます。

(聞き手=情報・広報委員会 浅野 祐一郎/石黒 幸喜)

「いばらき」から再び、

東日本大震災後、初の開催となる全国大会が盛況のうちに終了。



第55回 常陸国いばらきで語ろう「60」
建築士会全国

建築士会全国大会
「いばらき大会」

関東甲信越
ブロック

茨城

受付



始まる。

特集

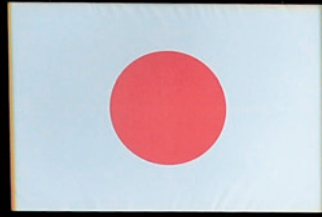
第55回 建築士会全国大会「いばらき大会」
常陸国いばらきで語ろう「60年の歩み」と「未来への創造」

2012年10月18日(木)・19日(金)・20日(土)

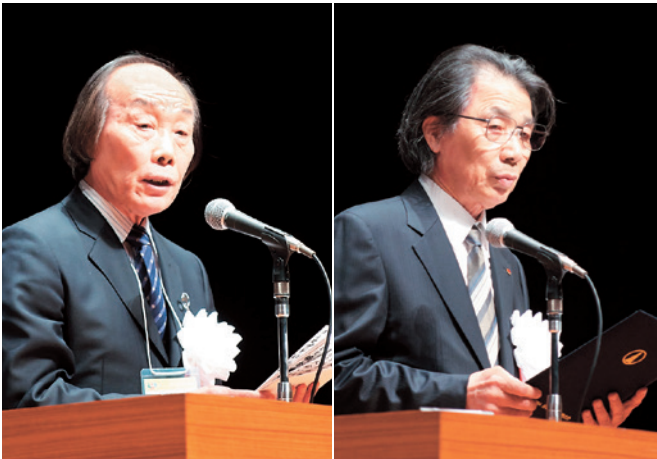
茨城県立県民文化センター・水戸芸術館・水戸プラザホテル

撮影＝浅野 祐一郎、石黒 幸喜、大槻 薫、楠見 達生、武居 公江、
中村 正明、平井 夏樹、山田 一博





2年ぶりとなる大会式典。
被災から蘇った会場の客席に、
心地よい緊張感が広がる。



(左より) 柴 和伸本会会長、日本建築士会連合会会長
三井所 清典氏、国土交通大臣羽田様代理 国土交通省
住宅局官房審議官 橋本 公博氏、茨城県知事 橋本 昌氏、
水戸市長 高橋 靖氏、茨城県議会議長 磯崎 久喜雄氏

「未来への創造」 「いばらき大会」



式典のオープニングで、堂々たる演奏を披露し拍手を浴びた県立大洗高校のマーチングバンド「BLUE-HAWKS」。

たくさんの来賓、会員を迎え、 盛大に執り行われた式典。

『常陸国いばらきで語ろう「60年の歩み」と「未来への創造」』をテーマに掲げた全国大会「いばらき大会」の大会式典が、茨城県立県民文化センター大ホールにて盛大に執り行われた。

式典に先立ちオープニングアトラクションとして、県立大洗高校マーチングバンド「BLUE-HAWKS」のメンバーによる演奏が行われ、市毛純一実行委員長による開会挨拶の後、茨城県建築士会柴和伸会長から、「昨年3月に発生した東日本大震災により本大会の開催も危ぶまれたが、関係者皆さんの協力により開催することができた」旨の挨拶が述べられた。

国歌斉唱の後、昨年亡くなられた会員391名のご冥福を祈り黙祷が行われ、日本建築士会連合会三井所清典会長の主催者挨拶があり、続いて表彰式が行われた。

連合会会長表彰は133名の受賞者を代表して茨城県建築士会の石坂健一氏に、伝統的技能者表彰は千葉県の小倉利夫氏ら24名に、会員作品展の優秀賞には県内桜川市真壁地区に建設された真壁伝承館の設計者、渡辺真理・木下庸子氏ら5名に表彰状と記念品が贈られた。また、永年勤続職員表彰として茨城県建築士会の助川義浩氏ら18名に感謝状が贈られた。

来賓挨拶では、国土交通省から羽田大臣の代理として橋本公博審議官、橋本昌茨城県知事、高橋靖水戸市長からご挨拶をいただき、その後全国から参加した各建築士会の紹介が行われ、大会アピールに。日本建築士会連合会佐藤東亜男副会長により次のとおり宣言された。

- 災害に強い住宅・建築物・まちづくりを推進する。
- 全国の建築士同士が連携し、被災地の復興支援を推進する。
- 自律的監督体制の確立の下、社会的使命を遂行する。

最後に、大会旗を次期開催地となる島根県建築士会足立正智会長に引き継ぎ、式典は閉会した。

情報・広報委員会 浅野 祐一郎



連合会会長表彰者を代表して表彰を受ける茨城会の石坂健一氏

伝統的技能者表彰、会員作品展優秀賞、永年勤続表彰などを受けた皆さん

決意の宣言。

- 一 災害に強い住宅・建築物・まちづくりを推進する。
- 一 全国の建築士同士が連携し、被災地の復興支援を推進する。
- 一 自律的監督体制の確立の下、社会的使命を遂行する。



大会アピールを伝える連合会副会長 佐藤 東亜男氏

オープニングの2本の映像に込めた 茨城会からの感謝のメッセージ。

第55回の全国大会「いばらき大会」の大会式典は、19日の15時より茨城県立県民文化センター大ホールにて行われた。昨年の東日本大震災で、茨城県は全県的な被害を受け、大会の開催さえ危ぶまれながら、茨城県をはじめ関係諸団体の復興へのご努力、ご協力によりこの全国大会が開けたことに対して、「感謝」と題したビデオ映像を制作し、式典のオープニングとしてご覧いただいた。

映像の終了と同時に大洗高校のマーチングバンド「BLUE-HAWKS」のメンバーが舞台下からせり上がり、演奏を開始した。その堂々たる演奏と小気味よ

い動きに、会場から大きな感動の拍手をいただいた。その後舞台上で配置替えを行い、式典の準備を整え、2本目の映像「陽いずる地 常陸」を披露。映像終了と同時に市毛実行委員長の「開会宣言」。柴会長の開催地「歓迎挨拶」、三井所連合会会長の「主催者挨拶」「表彰式」と続き、172名の建築士、会の発展に功績のあった方々やすぐれた作品に対して表彰が行われた。来賓のご挨拶、各県建築士会の紹介、佐藤東亜男連合会副会長による「大会アピール」、本会から次回開催地の島根県建築士会への大会旗の引き継ぎ、最後に松山恒男副会長の閉会の挨拶でつつがなく閉会。感動あり気品あり且つ厳かな式典となり、大成功のうちに終了した。

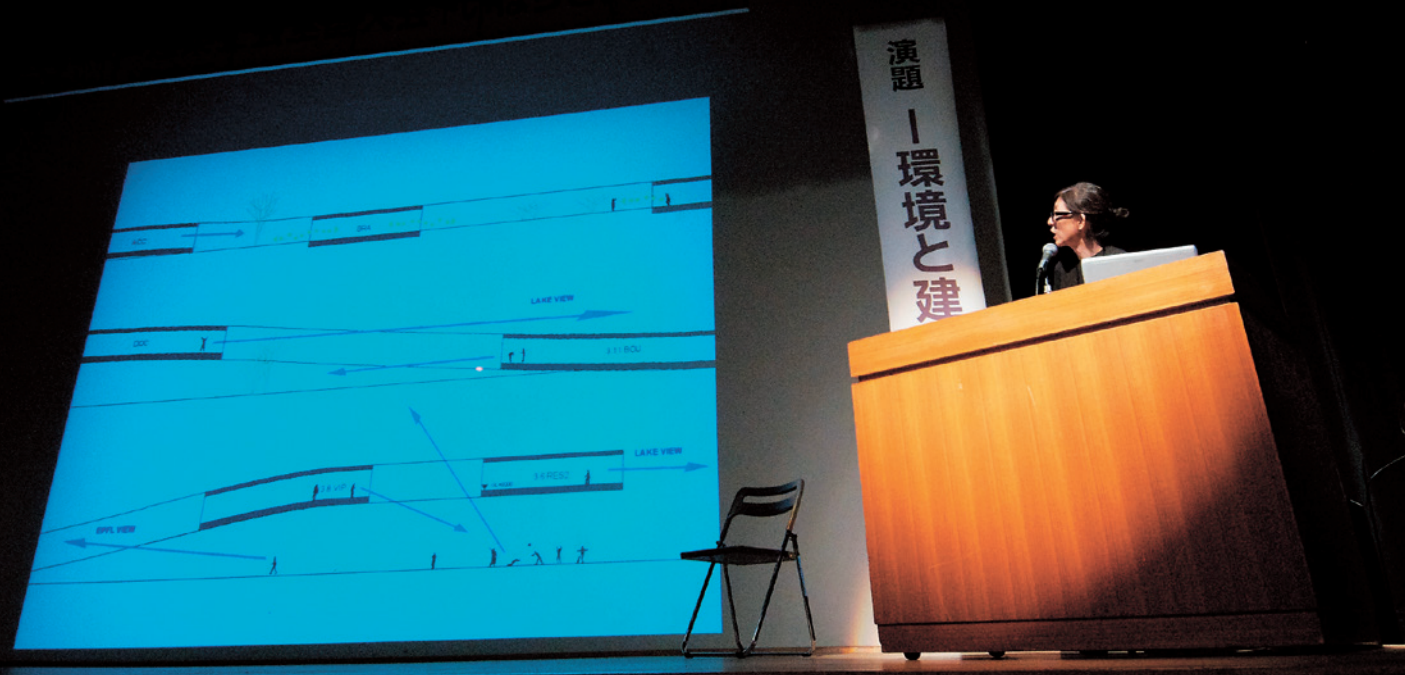
式典・会場部会 軽部 守彦



本会柴会長から、連合会三井所会長の手を経て、島根会足立会長に渡された大会旗。島根会会員は、揃いの鮮やかな青い法被姿で次回大会をアピールした。

妹島和世 記念講演会 in 県民文化センター

演題「環境と建築」 | 県民文化センター | 13:30～15:00



「既存環境に溶け込む建築」を実現に導く世界レベルの思考の軌跡。

「いばらき大会」記念講演会のひとつとして、本県日立市出身で、世界を舞台に活躍する建築家、妹島和世氏の講演が行われた。460席の小ホールで行われたため、開演30分前に会場はほぼいっぱいとなり、開演後は立ち見もできずやむを得ず帰る人も出るほどの盛況ぶりだった。講演は「環境と建築」と題して行わ

れ、金沢21世紀美術館、スイスローザンヌのROLEXラーニングセンター、瀬戸内海にある犬島「家プロジェクト」、地元JR日立駅の自由通路及び駅舎のデザイン監修など、スライドを交えて説明が行われ、ROLEXラーニングセンターなどの事例では、耐熱や通風などの諸問題にどのように対処していったのか、スタディ



スタディの経緯をスライドで示しながら説明する妹島氏

の経緯も含めて説明がされた。妹島氏は「建築が既存の環境とどう溶け込むかを考えている」といい、「内と外の空間が混じりあうような、また利用する人の身体スケールと大きな建築とがうまく混じり合うような空間を目指して設計を行っている」と語った。

情報・広報委員会 浅野 祐一郎



講演前に妹島氏の経歴を紹介する実行委員長の市毛氏。



会場は立ち見も多数出るほどの盛況ぶり

徳川齊正 記念講演会 in 水戸芸術館

演題「水戸徳川家を貫くもの」 | 水戸芸術館 | 13:00～14:30



お膝元で披露された、 水戸徳川家にまつわる貴重な逸話。

徳川齊正氏は東京海上日動火災保険理事、総務部長でありながら公益財団法人徳川ミュージアム理事長を務める方である。

講演では、「黄門様」として知られる水戸藩二代藩主 水戸光圀公の青年期、壮年期における逸話、「この紋所が一」で有名な黒地葵紋金蒔絵印籠の工芸品としての価値、また、齊正氏が水戸徳川家の第15代当主を続ける上でのご苦労など、たいへん貴重な話を聞くことができた。芸術館の円形劇場がほぼ満員になり、徳川氏の魅力的なスピーチも参加者を引きつけて、満足のいく記念講演になったと思う。

情報・広報委員会 石黒 幸喜

地元の水戸で黄門様の子孫の第15代当主徳川齊正氏による大変貴重な話を聞くことができた。水戸に長年に住む『水戸っば』として、地元の歴史——当時の大名の上下関係が脈々と現代まで続いていることなどを知り、歴史は深いものだと思わされた。

情報・広報委員会 稲野辺 浩



講演前に徳川氏の経歴を紹介する記念講演会部会の天氏。



講演する徳川齊正氏。水戸徳川家にまつわる興味深い話が次々と披露された。



茨城会セッション

テーマ「五浦六角堂の再建」 | 水戸芸術館 | 10:00～12:00



上映会「六角堂再建記録映画」 | お話「映画『天心』のこと」

映画監督
松村 克弥



講演会「21世紀の六角堂と岡倉天心の思想」

茨城大学教授
小泉 晋弥

六角堂は岡倉天心が五浦の地に築いた「アジア」 ——その背景に関するさまざまな考察。

午前10時から水戸芸術館の会議室において五浦六角堂復興を記念する講演会が行われた。講師は、茨城大学の小泉晋弥教授と映画「天心」の松村克弥監督。会場には120席を準備したが、

立ち見が出るほどの盛況となった。

講演は2部構成で行われ、最初に松村監督による映画のPV映像から始まり、キャスティングや撮影前の裏話、エキストラ募集などなど普段は聞けない話を

聞くことができた。

後半は小泉教授の講演で、岡倉天心が五浦の地に六角堂を建てた経緯や、天心の思想や歴史観、女性関係にいたるまで、さまざまな話を聞くことができ、会場の参加者も興味津々で聞き入っていた。

六角堂の復興には、茨城大学の要請により茨城県建築士会が深く関わった。数回にわたる復興会議と現地調査で、木材の選定、瓦の寸法、ガラスの検証など細部にわたって議論され、苦勞の末、復興にこぎ着けた。その経緯もあり、思い入れの深い講演となった。

五浦六角堂再建支援委員会 藤井 耕市



交流セッション

県民文化センター



交流セッション① 青年委員会 | 10:00～13:00

テーマ「あつまれ青年建築士！」—繋がる実践活動発表会—

実践活動をテーマに
熱いディスカッションを展開。

『あつまれ青年建築士』—繋がる実践活動発表会—と題して、全国から参加した青年建築士が10ほどのテーブルに分かれ、各地域で行っている実践活動について発表した。各テーブルにはコーディネーターと発表者、各県から参加した建築士たちが向かい合い、活動事例をテーマに、各々の思い、考えを述べ合っていく。スタートは、それぞれの所属建築士会や自己PRなどから始まり、その後パネル、リーフレット等の資料を活用しながら、テーブルごとに白熱したディスカッションが行われた。最後に各テーブルからまとめの報告が行われ、活気に満ちた交流セッションが終了した。

情報・広報委員会 浅野 祐一郎



交流セッション② 女性委員会 | 10:30~12:30

テーマ「東日本大震災に思う、女性建築士の視線から」ーリスクの認識・共有・対策ー



胸を打つ、復興への
たゆまぬ努力の軌跡。

女性委員会によるセッション。始めに「被害状況の報告」が、岩手、宮城、福島、東北3県および関東（栃木・千葉・茨城）を代表して千葉県より報告があった。報道されていない被災地の復興への努力やボランティアの方々の惜しみない手助けなど胸を打つものが多々あった。

パネルディスカッションでは、連合会女性委員会委員長の永井さんをコーディネーターに、パネリストとして前述の発表者に栃木の代表、茨城より女性委員会委員長の阿久津さんが加わりディスカッションが行われた。会場は椅子が足りないくらいの参加者で好評のうちに幕を閉じた。 情報・広報委員会 武居 公江



交流セッション③ まちづくり委員会 | 10:00~12:00

テーマ「大規模災害時の全国の建築士による被災地支援のあり方」

建築士としてできる支援、
そのあり方を深く議論。

5月12日、13日に北上市で開催された「第21回まちづくり会議」での議論を継承し、そこで抽出された課題や提案された解決策、支援方策などをさらに深く討議し、全国の建築士で共有する場として開催された。

宮城県「七ヶ浜の住宅復興の現状」の報告など、現在の被災地における支援の進捗状況を確認したあと、建築士会連合会やそれぞれの建築士としての、さらなる被災地支援の在り方について、村上美奈子氏をコーディネーターに、4名のパネリストを迎えてディスカッションが行われた。



交流セッション④ ヘリテージ保全活用支援タスクフォース | 12:30～15:00

テーマ「ヘリテージマネージャー活動の課題と展望」—ガイドラインとその普及—



ヘリテージマネージャーの存在の必要性を大いに実感。

交流セッション4は2部構成で開催された。第一部では、兵庫、静岡、神奈川、茨城、熊本の各県建築士会の文化財に関する特徴ある活動報告があった。地域の歴史的建造物を発掘し、現状を把握し、これらを

活用してまちづくりに活かすため、また、地震等の災害で被災した建造物の修繕、修復、復元等に関して適切な助言などを行うことなど、ヘリテージマネージャーの必要性を強く感じた。これからはヘリテージマネージャーをどのように育成し、どのように役立てるのかなど、課題はまだ多く、長期に渡るフォローが必要だと感じた。

第二部は全国ヘリテージマネージャーネットワーク協議会設立式。規約や運営委員、今後のスケジュールなどについて話し合いが行われた。協議会に参加を表明した個人、団体は32団体におよび（平成24年10月現在）、会場は熱気に包まれた。全国には歴史的建造物に強く関心を持っている人達が大勢いることを実感した。

まちづくり委員会 島田 哲

交流セッション⑤ 景観まちづくり支援タスクフォース | 12:30～15:00

テーマ「景観まちづくり専門家の育成と活動」—育成のガイドラインとその普及—

景観を損なわず、次世代に受け継いでいく責務。

建物を建築する際、建物自体のデザイン性ばかりを追及するのではなく、先人のたゆまない努力により守られてきた景観を損なわないよう工夫し、次世代に受け継いでいく必要がある。そのためには、顧客や行政の理解と協力を得なくてはならない。私たちには、景観を守りつつも、十分な顧客満足を得られる建物を建築するための能力や技術が求められる。当セッションのような講義を頻繁に行い、景観まちづくりの専門家を育成することが重要である。

情報・広報委員会 中村 正明



交流セッション⑥ リフォームタスクフォース | 13:00～15:00

テーマ「リフォームと建築士」



建築士がリフォームに、
より主体的に取り組むために。

国土交通省では、平成24年3月末に、平成22年に掲げた成長戦略目標を踏まえて、平成32年までに中古住宅・リフォーム市場規模を倍増させる目標を公表した。このセッションでは、建築士がリフォームに主体的に取り組めるよう作成された「リフォームハンドブック」の紹介のほか、各分野の専門家を迎え、国の施策、消費者の動向を踏まえた活動の報告、リフォームの実例の紹介、現行法の問題点などがわかりやすく解説された。

交流セッション⑦ 設計等業務調査検討部会 | 10:30～12:30

テーマ「建築士の設計・工事監理等の業務」

—国土交通省告示第15号に基づく設計・工事監理等の業務報酬の算定と建築主への説明のために—

建築士の本質とは何かを
考えるよい機会に。

平成21年1月の国土交通省告示第15号に示された標準業務内容をベースにした建築士及び建築設計事務所の業務について、解説が必要であるとの認識から、日本建築士連合会の中に検討部会が設置された。その成果に基づくセミナー。まず始めに、今般の建築士制度改正のポイントは、建築士の資質向上、行政による建築士の業務の把握、建築士事務所の社会的地位の向上と確立にあるとの概要説明があり、それらを実際に業務としてどのように反映していくのか、具体的な事例を参考に講義が始まった。建築主との齟齬をいかに解消し、建築士としての役割と使命を果たすかが、顧客に向き合

う基本的な姿勢であり、その表現の仕方、工程における報告など適切な業務の模範を事例にした内容だった。今後さらに進むと思われる国際化、多様性、権利意識の向上に向け、制度的にうまく受け止める仕組みの整備が必要であり、継続した調査、研究、検討を加え課題を克服していき

たいとのことだった。法律という堅い課題でありながら、平易な説明で、建築士の本質について考える機会を与えられた。資質向上は普遍であり社会的地位の確立には業務に対する意識、知識の向上がさらに必要であると感じた。

情報・広報委員会 塙 万治



大会スケジュール

10月18日(木)

8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 (時)

水戸プラザホテル						記者会見		理事・士会長合同会議							歓迎交流会
ホテルレイクビュー水戸						第7回まちづくり賞発表会及び公開選考会									全国まちづくり委員長会議
三の丸ホテル															全国建築士フォーラム(青年委員会担当)

10月19日(金)

8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 (時)

茨城県立県民文化センター	大ホール棟																						
				総合受付																			
	小ホール																						
	小ホール棟																						
	一般展示室																						
	県民ギャラリー																						
	展示室ロビー																						
	集会室8号																						
	分館																						
集会室9号																							
集会室10号																							
屋外																							
水戸芸術館																							
ACM劇場																							
会議室																							
広場																							
水戸プラザホテル																							

10月20日(土)

地域交流見学会(エクスカーション)

士会会員として長きにわたり活躍されてきた先輩方を訪問し、お話を伺うコーナー。第18回となる今回は、日立支部の清水 忠氏と、県央支部の市毛 純一氏を訪問し話を伺いました。

聞き手＝情報・広報委員会



「継続は力なり、努力は嘘をつきません」

清水 忠氏 (日立支部)

昭和17年生まれ/昭和48年入会/会員歴40年

【主な経歴】昭和36年に県立水戸工業高等学校建築科を卒業。卒業後、一度は建設会社に勤務したものの、学問の必要性にめざめ、日本大学工学部へ入学。卒業後しばらくして本会初代会長の田中達次郎氏に師事、おもに構造設計に携わる。その後独立し、現在地に事務所と住まいを構える。平成20年には構造設計の知識を生かし、構造設計一級建築士の資格を取得。また、現在は水戸地方裁判所日立支部の民事調停員も務める。いまなおエネルギーに活躍を続ける先輩会員。

——構造設計一級建築士の資格を取得されました。

大学時代から計算するのが好きで、構造に関することも独学で勉強し続けてきましたので、受験しました。合格したときはうれしかったですね。

——健康の秘訣を教えてください。

庭先でのゴルフ練習を日課にしています。気分転換にもちょうどよく、適度な運動になっています。

——後輩会員へのアドバイスを。

私の好きな言葉は「継続は力なり、努力は嘘をつかない」。興味のあることはとことん追求することです。私もその姿勢で生涯現役を目指しています。



「何ごとにも誠実に行えば、必ず相手に伝わるものです」

市毛 純一氏 (県央支部)

昭和24年生まれ/昭和50年入会/会員歴37年

【主な経歴】県立水戸工業高等学校建築科を卒業後、建築設計事務所などで経験を積み、昭和53年に市毛建築設計事務所を開設。県建築士事務所協会においては、設立当初から運営に携わり、各委員会委員長、理事として活躍。本会においても、平成6年から理事として、平成24年からは常務理事として会の活動を牽引する。10月に行われた全国大会「いばらき大会」では、実行委員長を務め、柴会長の指揮のもと大会を成功に導いた。

平成24年度、建築設計業界発展のために尽力した功績が認められ、「国土交通大臣表彰」を受賞された。

——建築士会の活動で印象に残ることは？

旧企画委員会の委員長時代に、「まちづくりシンポジウム」「まちづくりワークショップ」の開催を主導し、現在のまちづくり委員会の基盤づくりができたこと、組織改革で支部合併を推進できたこと、青年部長として平成2年度関ブロ茨城大会で安藤忠雄氏の講演を実現できたことなどが、とくに強く印象に残っています。今は、実行委員長を務めた全国大会が成功裏に終わり、安堵しています。

——後輩会員へのアドバイスを。

私の好きな言葉は「誠実」。何ごとにも誠実に行うこと。そうすれば、必ず相手に伝わるものです。

ひたちなか市立那珂湊第二小学校

地域イベントで“ステージ”として利用できる「音楽室」が、象徴的空間。
地域社会と連携し、「地域と共に歩む学校」の理想形を目指す。



ステージとして利用可能な音楽室

「太陽と風の学びや」

敷地は東に太平洋を臨む那珂湊の富士ノ上の高台にあり、住宅に囲まれた市街地に位置しています。太平洋からのぼる太陽と、心地のよい潮風を大切に取り入れた明るく健康的な学びやを計画しました。

「地域と共に歩む学校」として、地域の風景との一体化を図り、地域社会との連携を深めながら特色のある学校づくりのできる施設創りを行いました。

「配置計画」

計画地は狭隘な変形した敷地で、敷地の中ほどに残存施設があります。そのため、敷地の合理的な利用と残存施設との連携、また隣接幼稚園との連携を考慮した計

画としました。

敷地の北側に2階建ての校舎を設け、道路に沿って体育館を設けます。校舎と体育館の間の道路側にはエントランスプラザを設け、学校としての佇まいを整え沿道景観の形成を行います。歩車分離されたゆとりのある正門廻りは学校の内部と外部を明確に区画し、校内の安全空間を確保します。

校舎の南側には歩行者専用の通りである「スクールプロムナード」を設けます。隣接する幼稚園まで続くこの通りは、児童を安全に昇降口へ導き、校舎とグラウンドを明確に分離します。

「平面計画」

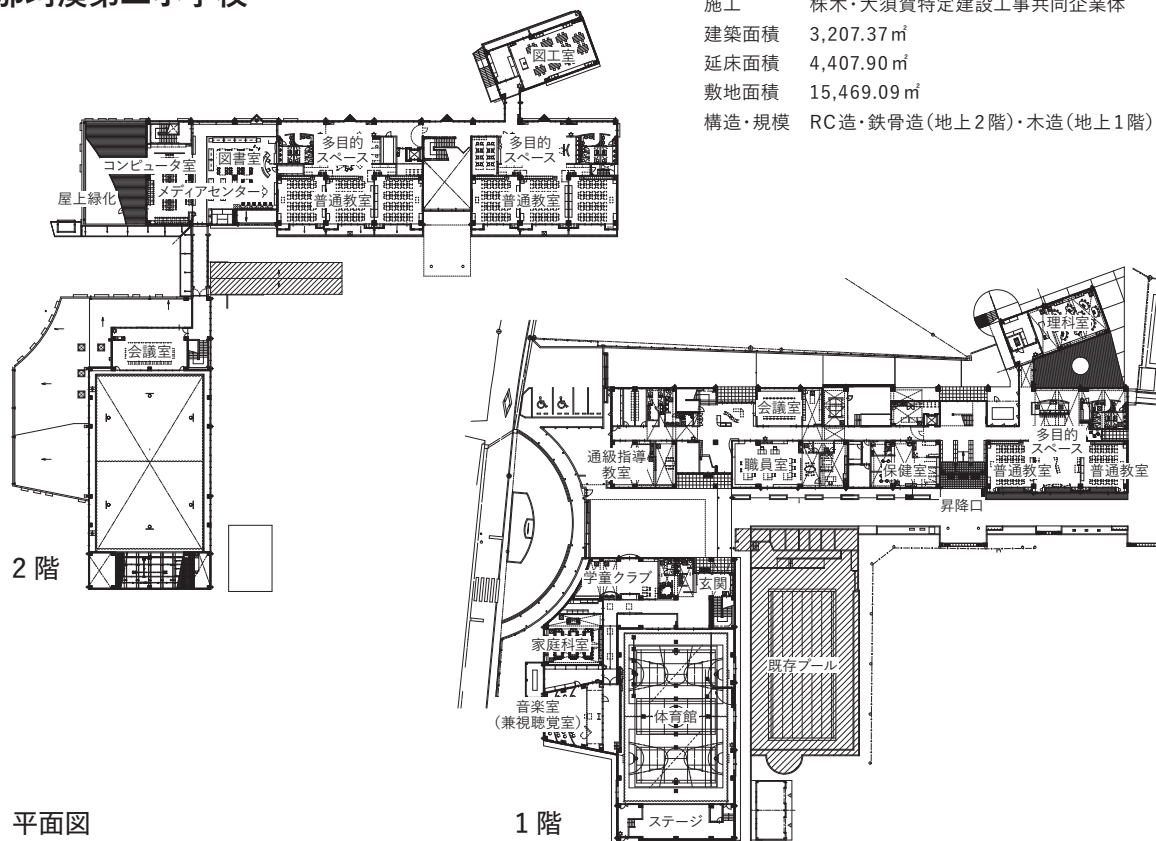
1学年1クラスという小規模校にふさわしく、コンパクトで学校全体

を一体化できる施設構成としています。普通教室は全て南向きの健康配置で、低・中・高学年で形態の異なる多目的スペースを持つユニット形式とし、明るく学習のしやすい快適性と機能的で柔軟な学習形態が可能になるようにしました。各ユニットの中央には多目的スペースを設ける事で、クラスが増えた場合にも普通教室として対応できる施設構成としています。

体育館と家庭科室、音楽室など地域開放施設を一体の建物とし、「地域と共に歩む学校」として地域社会との連携を深めることのできる施設としました。特に音楽室はアリーナからのステージとしての利用が可能な構成とすることで、「浜っ子祭り」など音楽を通じた地域イベントでの活用ができるよう

ひたちなか市立 那珂湊第二小学校

所在地 茨城県ひたちなか市富士ノ上155-2
 設計・監理 (株)横須賀満夫建築設計事務所
 施工 株木・大須賀特定建設工事共同企業体
 建築面積 3,207.37㎡
 延床面積 4,407.90㎡
 敷地面積 15,469.09㎡
 構造・規模 RC造・鉄骨造(地上2階)・木造(地上1階)



平面図



ゆとりのあるエントランスプラザ



校舎南面



明るく開放的な昇降口

にしました。

北側の変形した敷地には特別教室のうち、理科室と図工室を設け、畑や観察園と連携させると共に、敷地の有効利用を図れるようにしました。また建物を分節し中庭を設ける事で、教室内へ光や風など自

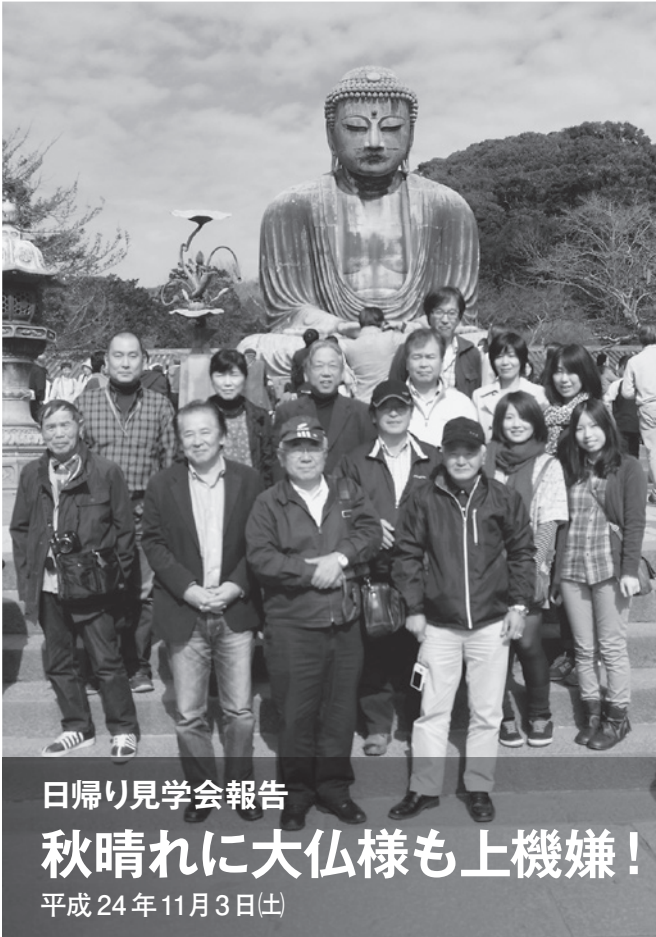
然の恵みを導くようにしています。

「環境への配慮」

地球温暖化抑制への配慮と、児童への環境教育の一環とした施設造りを行っています。

通風や採光など自然力の活用

を基本としながら、ソーラーパネルによる自然エネルギーの活用や、緑化テラスによる熱負荷の軽減を行います。校舎内には茨城県産の杉材を使用し、温かみのある校舎とし、人や環境に優しい学校としました。



日帰り見学会報告

秋晴れに大仏様も上機嫌！

平成24年11月3日(土)



日帰り見学会も今回で第21回を数えることとなりました。キャンセル待ちも出るほど、毎回たくさんの方にご応募、ご参加をいただきありがとうございます。

去る11月3日に実施した古都鎌倉への小旅行について報告します。

立冬を間近に控えた文化の日、出発時は若干曇り空だった天候が、目指す鎌倉が近くなるにつれポカポカ陽気となってきました。さすがに連休の影響もあって都心入口より渋滞に巻き込まれたものの、何とか約40分遅れで無事、大仏様と対面。中国からの観光客は減っても、やっぱりここは相変わらずの人ばかり。特に若い女性方が目立ちます。小泉今日子主演のドラマの影響力はやっぱり強いのでしょうか？

さて大仏様のご様子はといえば、綺麗に抜けた青空にお顔がとても映えて一段と清々しく見えます。その後、昼食会場に移動！昼食会場は、毎回、参加者全員が同じ場所で食べられることを

心掛けて事前に見学します。じつは、この会場探しが一番の悩みの種。今回はイタリア料理店を貸し切ったバイキングとしました。皆さん、各種の料理をしっかりとお皿に乗せて行き来しているようでした。

このあとは、集合時間までフリー！小町通りで買い物をするもよし、鶴岡八幡宮で参拝するもよし！とそれぞれの行動にお任せです。小町通りは鎌倉ならではの店舗が軒を並べ、原宿を彷彿させるほどの人通り。鶴岡八幡宮は観光客と七五三の参拝、そして結婚式で大賑わい。珍しい舞殿での神前公開結婚式を見ることもできました。

参加者は、それぞれに楽しまれているようでした。集合時には、お約束のように皆さんが「鳩サブレ」の紙袋を持っていたのが印象的です。

絶好の行楽日和に恵まれた日帰り観光でありました。ぜひ今後も日帰り見学会へのご参加、ならびに建築士会活動へのご理解とご参加をお願いします。



第5回ボーリング大会開催

平成 24 年 8 月 25 日(土) 水戸グリーンボウル

始球式でボールを構える本会柴会長

第5回のボーリング大会が、8月25日(土)水戸グリーンボウルにおいて開催されました。各支部から会員、賛助会員混じっての73名が参加。ゲーム前の開会式では渡辺会員委員会委員長より主旨説明があり、その後柴会長の始球式によりゲーム開始! ガーターあり、ストライクありでゲームは楽しく和気あいあいと進み、個人戦では、2ゲームを投げトータルスコア351で県央支部の萩谷孝一さんが優勝しました。また、団体戦では上位3名のトータルスコア871を記録した桜川支部Aが見事優勝しました。次回は2013年8月24日(土)に開催予定です。皆様、ぜひご参加ください。

個人の部		スコア(2ゲーム合計)
優勝	萩谷 孝一	351
準優勝	中山 康弘	345
3位	武村 実	332
4位	鈴木 智子	327
5位	笹沼 孝行	313

団体の部		スコア(上位3名合計)
優勝	桜川支部A	871
準優勝	ミナト防災通信工業	864
3位	ホテル テラス ザ ガーデン	819

■ 昇降機設備工事

株式会社日立ビルシステム

東関東支社 茨城支店

〒 310-0011 水戸市三の丸 1-4-73 (水戸三井ビル)
 TEL 029-221-5117
 FAX 029-221-5119

人にやさしい

地球にやさしい



暁 飯 島 工 業

代 表 取 締 役 社 長 荻 津 仁 彦

本 社 茨城県水戸市千波町2770番地の5 TEL 029-244-5111
東 京 本 店 東京都台東区東上野四丁目1番18号 TEL 03-5828-2911
つくば支店 茨城県つくば市高野台二丁目10番1号 TEL 029-836-2111
設備のリニューアルで省エネ実現／お客様相談室 ☎ 0120-018-063



土木建設資材の総合商社

汚染土の仮置場処理対策製品

株式会社 **建 友**

代表取締役 **根 本 勇**

本 社 茨城県水戸市吉沢町333-4
電話 (029) 247-8405 (代表)
FAX(029) 248-0155

支 店 茨城県鉾田市造谷1529-99
電話 (0291) 37-1335
E-mail: office@k-kenyu.co.jp

あなたには、
夢をみる資格があります。



あなたのペース、あなたのスタイルで資格取得ができるよう、
日建学院はあなたの夢を全力でバックアップします。

一級建築士 合格実績 No.1

一級建築士 115,487人輩出 二級建築士 162,494人輩出

一級建築士 日建学院合格者総数115,487人 / 全国合格者総数208,432人※。日建学院合格者占有率55.4% 一級建築士の半分以上が日建学院出身者です。合格実績には、建築試験のみの受講生、教材購入のみの方、及び無料の役務提供者は一切含まれておりません。※全国合格者総数は(財)建築技術教育普及センター発表試験結果データ(昭和55年～平成23年累計)です。

あなたの街のお近くにも
きっとある。
全国600校の
ネットワーク!

日建学院

日建学院 認定校

日建学院 公認
スクール

全国都道府県
約600校

全国教室数
約1,160教室

全国席数
約29,000席

全国講師数
約1,000名

全国職員数
約1,700名

お問い合わせ・資料請求はお近くの日建学院までお気軽にどうぞ!

つくば校 ☎ 029-863-1166

〒305-0817 茨城県つくば市研究学園D10街区4 高谷ビル3F (研究学園駅より徒歩3分)

水戸校 ☎ 029-226-5100

〒310-0803 茨城県水戸市城南2-11-15 日建ビル(水戸駅より徒歩で約10分)

Human social technologies 電気・通信・防災・セキュリティー

ミナト防災通信工業 株式会社

～ Minato Bousai co.LTD SINCE 1974 ～

茨城・東京・神奈川

www.minatobousai.co.jp



リフォーム工事にも 既存住宅売買にも

まもりすまい保険

リフォーム工事をお考えなら
まもりすまいリフォーム保険

既存住宅(中古住宅)の売買には
まもりすまい既存住宅保険

リフォーム工事や既存住宅売買時にもご利用いただける **検査と保険がセット** になった住宅瑕疵保険です。

補修費用が保険で カバーされます!

補修費用等が保険でカバーされるので、瑕疵発生時の経済的負担が軽減されます。

第三者の検査員が 現場検査をします!

専門の検査員が基準に基づき検査を実施するので、お客さまも安心です。



キャラクター
「まもりす」

事業者選びの 目安になります!

万が一に備える事業者さまは、お客さまの事業者選択のひとつの基準になります。

万が一、事業者等が 倒産しても安心です!

事業者が倒産した場合には、お客さまに直接保険金をお支払いします。

〈まもりすまい保険〉は、
住まいの安心を支える
実績と信頼のブランドです。

- 保険・保証利用住宅178万戸以上の30年間の実績と信頼。
- 瑕疵防止のための技術基準と経験豊富な3,700名の検査員。
- 11,000件を超える事故対応実績と豊富な知見。
- 全国約750ヶ所の窓口が、事業者さまをサポート。

お問い合わせは

国土交通大臣指定住宅瑕疵担保責任保険法人



安心を、ささえる。未来へ、つなぐ。

住宅保証機構

〒108-0014 東京都港区芝5丁目29番14号 田町日エビル
TEL03-6435-4690

保険取次店

財団法人 茨城県建築センター

茨城県水戸市笠原町978-30 〒310-0852
TEL.029-305-7300(代) FAX.029-305-7310
<http://www.ibakenju.or.jp/>

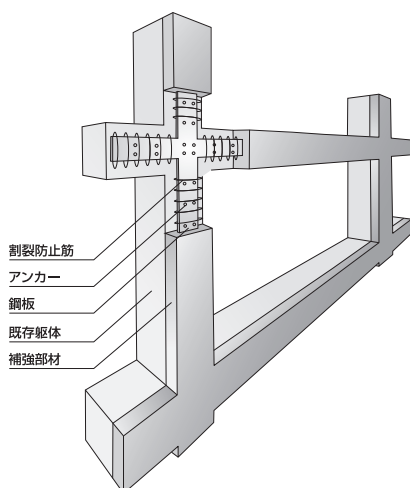
外観の変化が少なく、外からだけで 施工ができる耐震補強

ピタコラムフレーム工法

補強前



補強後



建物の外観を損なわず居ながら工事ができるので、この工法を選びました。
内部工事が発生しないので、テナントへの影響も少なくて済み、大変満足しています。



建物所有者

外壁と敷地境界との空間が狭いことから、補強部材の厚さが薄く、施工時のスペースが最小限に済む工法を採用しました。
また、補強体を既存建物の柱梁部分に取り付けるだけでなく、方立壁部分にも補強間柱という形で設置することにより、限られたスペースの中で効果的な補強計画を実現することができました。

結果、補強前と補強後では外観がほとんど変わらず、綺麗な納まりになったと思います。



設計者



矢作建設工業株式会社

www.yahagi.co.jp

本社 / 〒461-0004 名古屋市東区葵 3-19-7
東京支店 / 〒104-0043 東京都中央区湊 2-2-5

TEL: 03-3555-3611 FAX: 03-3555-3610



ひたちなか市立那珂湊第二小学校

 **MITSUO YOKOSUKA**
ARCHITECTURAL CO., LTD.

(株)横須賀満夫建築設計事務所

事務所 / 茨城県水戸市南町2-1-18アーキビル 〒310-0021
TEL 029(225)4353 FAX 029(225)1794

東京支店 / 東京都杉並区梅里1-3-12 テラスキョウ101号室
〒166-0011 TEL・FAX 03(5378)6617

U R L <http://www.design-yokosuka.co.jp>
E-mail yokosuka-mitsuo@bea.hi-ho.ne.jp



第55回 建築士会全国大会「いばらき大会」

「いばらき」から再び、始まる。

屋台村 in アートタワー

水戸芸術館

17:30～19:45

水戸芸術館のシンボル
「アートタワー」と
「広場」の芝生が演出する
美しき野外の宴。





水戸女子高校による演奏と踊り



水戸商業高校によるチアリーディング

地元高校生たちが見事なパフォーマンスを披露！



パフォーマンスを楽しむ参加者たち



大洗高校マーチングバンド「BLUE-HAWKS」

パフォーマーも参加者もキラキラと輝いていた！

「市民参加型イベント」として企画されたのが「屋台村 in アートタワー」。水戸芸術館の美しい芝生の広場に、飲食店ブースや物産店ブースが設営され、茨城を代表する食材やお酒が並ぶ。

よく晴れていた日中から、日が沈み少し寒くなったころ、まずは、水戸女子高校の生徒たちによる吹奏楽と歌と踊りのステージが始まった。迫力のある生音と若さあふれる澆刺とした歌声は、見ている老若男女にもエネルギーを与えてくれる。

続いて披露されたのは、水戸商業高校の女子生徒によるチアリーディング。今風の音楽とそのパフォーマンスは、屋外の寒さを忘れさせ、快

活な気持ちにさせてくれた。

最後は、大洗高校マーチングバンド「BLUE-HAWKS」の演奏。県民文化センターでの大会式典を終えて、こちらへも駆けつけてくれた。自らのパートを精一杯演奏し、素早く動く。その動作やフォーメーションから、彼らの誠実な気持ち、一人ひとりのひたむきな努力や真摯な姿勢が伝わってくる。

この日パフォーマンスを披露してくれた高校生たちは、全員がキラキラと輝いて見えた。そんな気持ちで物産・飲食ブースに目を向けると、働く人、仲間とお酒を飲む人、家族と談笑しているみんなが楽しそう。こちらの人々も何だか光って見えた。

屋台村 in アートタワー、良い時間を過ごさせていただいた。

情報・広報委員会 山田 一博

地域の方々や若き高校生に、建築士会をアピール！

芸術館の広場において、地元の高校生たちによるパフォーマンスや物産店、屋台村などを用意し、地域の方々にも参加していただけるような屋外での交流会を企画した。

天候にも恵まれ、多くの方々に参加いただき、楽しい催事とすることができた。地域の方々や今後を担う若き高校生たちに、建築士会の存在を知ってもらえたことも収穫のひとつだったと思う。

当日の準備から撤収まで、ハードな1日ではあったが、物産店、屋台村に出店してくださった方々にも催事を盛り上げていただいた。感謝するばかりである。

イベント部会 一毛 裕之

大交流会

水戸プラザホテル

18:00～20:00



大交流会には700名が参会し、大会場を埋め尽くした。

迫力の三味線、優雅な室内楽、妖艶なベリーダンス！ 700名を迎えての宴は、晴れやかに、華やかに。



松山本会副会長

柴本会会長

立蔵県都市局長



高橋水戸市長

三栖日事連会長

葦原 JIA 会長

全国の建築士たちの笑顔満開！ 大いに盛り上がった交流の宴。

式典終了後、参加者にはシャトルバスで大交流会会場である水戸プラザホテルに移動していただいた。道路事情や時間帯により、移動にかかる時間が読み切れず、開催時間の遅延を心配したが、蓋をあけてみれば、時間前に次々と参加者が会場に到着し、時間どおりの開始となり、ひと安心した。

立食パーティー形式とした会場は、参加者700名で埋め尽くされめいっぱい状態。コンパニオンがどこにいるのかわからないほどで、これはうれしい悲鳴であった。



数々のアトラクションが披露された大交流会。迫力の津軽三味線、「水戸黄門」のご一行、茨城交響楽団、梅大使の皆さん、そしてベリーダンス！

開会に先立ち、佐々木光儀氏が率いる30名の三味線奏者による「津軽じょんがら節」が演奏された。その迫力ある演奏は大きな会場を揺るがすほどで、参加者からは口ぐちに絶賛の声が聞かれた。

主催者、ご来賓の挨拶のあと、梅大使9名が会場に花を添え、茨城会の会員が扮する黄門様ご一行も登場して、いよいよ乾杯！

茨城交響楽団による生演奏をBGMに、参加者のお酒すすみ、会場はにぎやかな雰囲気となる。そこへ用意されたベリーダンスの余興。10名のダンサーが妖艶な踊りを繰り広げると、ステージ回りに

は鼻の下をのばした殿方たちが大勢集まり、写真におさめる方も多く、たいへんな盛り上がりとなった。

会の最後に、島根会の皆さんが次期開催地のアピールを行い、大盛況のうちに大交流会は閉幕となった。

閉会の挨拶が終わっても、名残を惜しむように多くの参加者がしばらくの間会場に残る姿が見られた。

余興がテンコ盛りの交流会ではあったが、他県との交流を大いに図ることができ、参加された皆様に気持ちよくお帰りいただけたと思っている。

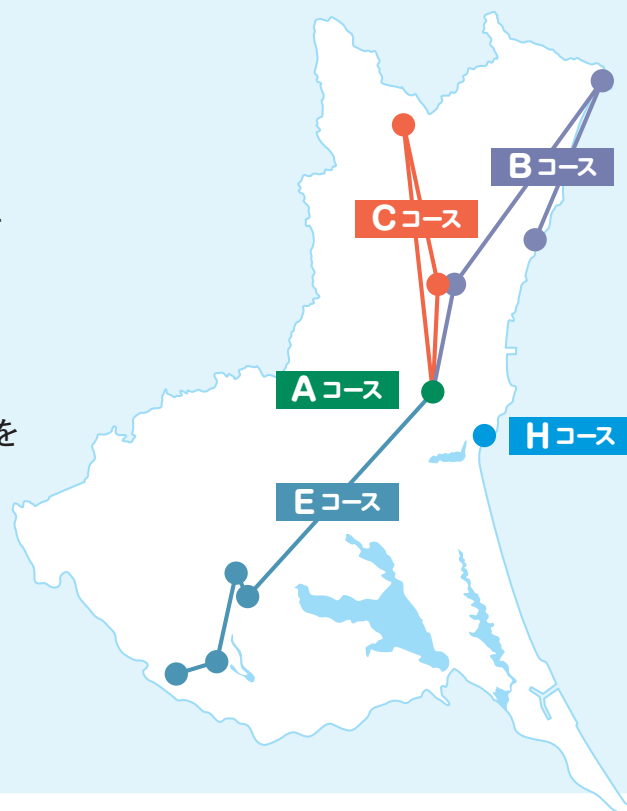
総務・財務部会 小川 憲一



大会は無事終了。
明日はエクスカーション！

地域交流見学会 (エクスカーション)

大会翌日も晴天に恵まれ、
絶好の旅日和に。
参加者たちは、各コースに分かれて
茨城県内各地へと赴き、
地域の歴史・文化と
特徴ある建築物を巡って
地域交流見学会 (エクスカーション) を
それぞれに楽しんだ。



A コース [水戸市内] 県都・水戸の“歴史・文化”とその“現在進行形”に触れる小さな旅コース



偕楽園、弘道館に芸術館。
新旧の「水戸」文化を満喫。

水戸駅から水戸城跡三の丸にある城をイメージした三の丸小学校・隣接する震災復興途中の水戸藩弘道館(天保12年開設)、国の登録有形文化財となっている水戸市水道低区配水塔を車窓から見学、徳川ミュージアムでは一般公開されていない茶

室・得月亭を特別に見学させていただいた。徳川斉昭公が開園した「民と偕に楽しむ」偕楽園公園にある好文亭の3階楽寿楼から、千波湖や田鶴鳴梅林などの素晴らしい眺めを望んでしばし時を忘れる。昼食は千波湖ほとりの「とう粹庵」で創作和食を楽しんでいた。

午後は水戸芸術館へ。「震災報道では、くねくねと揺れ動く芸術館タワーが放映され心配していたよ」と参加者の話を耳にし、あらためて夢中で過ごしていた震災直後の日々を思い出した。また、突然の申し込みにも関わらず、当日夜演奏される水戸室内管弦楽団定期演奏会の音合わせ中のコンサートホールやACM劇場を広報のご担当者にご案内いただいたり、タワーに昇ったりと、存分に水戸の「小さな旅」を楽しんでいた。

広報・記念誌部会 柳下 文江

Bコース [水戸・県北] 徳川光圀の隠居所と岡倉天心ゆかりの地を巡る文化施設コース



バス3台、総勢87名で
再建された天心の六角堂へ。

Bコースは、この日最多のバス3台、87名が参加。スタートは日本三名園のひとつである偕楽園の好文亭から、次に常陸太田市にある徳川光圀が晩年「大日本史」に取り組んだ「西山荘」へ。高速道路を北上して、最大の見どころ、近代日本美術に影響を与えた岡倉天心ゆかりの地、五浦海岸に到着。茨城大学に建築士会が全面協力する形で、東日本大震災の津波による流



失から再建した「六角堂」を見学した。その後、内藤廣氏設計による茨城県天心記念五浦美術館へ。最後は妹島和世氏デザイン監修の日立駅西口を視察し、解散となった。秋晴れの晴天に恵まれた有意義な一日となった。

情報・広報委員会 浅野 祐一郎

Hコース [大洗] 大海原を眼前に望む名門「大洗ゴルフ倶楽部」で、贅沢ゴルフ三昧コース



気分はプロ?!
海を望む名コースを満喫!

黒松林の間から青い大太平洋を望む伝統あるゴルフコースで、32名の参加者が8班に分かれてプレイ。フェ

アウェイが狭いため、真っすぐに飛ばし、刻むゴルフを得意とする人ほど、よいスコアが出たようだ。

天候に恵まれ、青い空、青い海、美しいグリーンのコントラストを存分に満喫した一日だった。

C コース [奥久慈] “奥久慈清流ライン”(JR水郡線)で行く日本三名瀑「袋田の滝」コース



日本三名瀑のひとつ、 袋田の滝の迫力に歓声!

参加者全33名で、午前9時22分水戸発「奥久慈清流ライン」4両編成で袋田駅まで、1時間10分の電車の旅。秋晴れの下の深緑の山々と清

流の久慈川、なかなか風情がある。

バスに乗り換え「袋田の滝」へ、平成20年に完成した以前の見学場所より45m高い場所からの見学、水量が多く迫力があり歓声があがった。

「豊年満作」にて昼食、できたての豆腐、凍みこんにゃく入りのデザー

トが、特に評判がよかった。

袋田より山道の峠を越えて、常陸太田市の水戸徳川家墓所「瑞竜山」へ。関係者のご厚意で、今回特別に、震災復旧状況の視察、水戸家2代目藩主光圀公の墓参りができたことに、参加者は感激してくれた模様。

次に西山荘へ移動し、施設を見学後、ユーモアのある掛け声で集合写真を撮り、予定通り午後4時に水戸駅に到着。

慌ただしスケジュールであったが、参加者の皆さんのご協力、赤坂さん、渡邊さんの案内で、予定通り旅を終えることができた。

帰り際に「Cコースに参加して良かった」と声をかけてもらい、大変うれしかった。

会員委員会 根本 勝義

E コース [つくば] つくばで“江戸時代へのワープ”と“先端宇宙科学への誘い”を同日体感コース



江戸の街並みから一転、 めくるめく宇宙体験を堪能!

ワープステーション江戸は、時代劇のロケ地で、当日はロケが行われるなか(テレビ東京正月2日放映予定)での自由見学だった。俳優、女

優、脇役、端役、エキストラに、馬が加わってのロケ。街並みに看板が掛けられ、のれんがたなびき、生き生きとした江戸のまちの雰囲気味わうことができた。

つくばエキスポセンターでは、世界最大級のプラネタリウムで、神秘

的な天体の世界に導かれる。素晴らしいストーリー構成に感銘(期間ごとにさまざまなストーリー構成の星を映し出している)。入口ホールでは科学者がブーメランの実習講演を行い、賑わっていた。JAXA筑波宇宙センターでは、ロケット広場で参加者全員の写真を撮り、各ブースでは職員OBによる実体験を交えた熱い説明を受けた。「はやぶさ」は相模原キャンパスにあり、レプリカのみ展示だった。1時間あまりの見学ではとても時間が足りないが、宇宙食を味わうことができ、参加者の皆さんはたいへん喜ばれていた。つくばエクスプレスのつくば駅前でバスを降り、解散となり、参加者の皆さんにお別れをした。

会員委員会 堀江 功

感激はいまも深く心の中に。

前年の大阪大会が中止となり、手探りの中で新しいスタイルの全国大会を作り上げようと、総勢160名余の茨城会スタッフが、各々の持ち場で最大のパフォーマンスを発揮し、この大会をひとつにまとめた結果の「成功」だと考えます。

私の所属した総務・財務部会は、本来裏方ではありますが、その業務の範囲は、大会のすべての分野に深く関与しており、メンバーは、広報部会や式典部会、イベント部会との調整と実行予算の把握に苦労しました。

飲食ブース、物産店、大交流会の手配、シャトルバスの運行手配、梅大使の誘導、お弁当の手配と管理、水戸駅のフラッグを含めた告知活動——これらすべてのことに関与できたのは、建築士会の「全国大会」ならではのでしょう。その感激は、私の中に今も深く刻まれています。

総務・財務部会 小室 克己

来ていただいた皆様に感謝。

今回の大会では、参加者の皆さんの選択肢を増やすため、記念講演をお二人に依頼しました。1年前からアポイントを取りましたが、妹島さんにも徳川さんにも「1年先のことはわからない」と言われたことを思い出します。大会の1ヵ月前、お二人に最終確認したところ、OKをいただき、ひとまず安心しました。

当日の動員についても、担当者としては気をもみましたが、結果的には、妹島さんの講演はメイン会場ということもあり満席、芸術館の徳川さんの講演も400人近い方に参加していただき胸をなでおろしました。

講演会を企画・手配するなかで、いろいろな方々との出会い、再会があり、個人的にも有意義な時間となりました。関係各位と講演に足を運んでくださった方々に心からお礼申しあげます。ありがとうございました。

記念講演部会 天 茂彦

大会を無事に終了でき、安堵。

今年3月、大会概要を連合会会誌に掲載したものの、各部会における支出計画が確定せず、予算の範囲内で運営ができるか心配もありました。それでも何とか皆の努力で準備を間に合わせ、本番に臨みました。

当日は、晴れ晴れとした秋空のもと、早朝から続々と参加者が訪れ、セッション会場は定員を超え、物産店や飲食コーナーも多くの人で賑わい、式典会場もマーチングバンドの演奏に酔いしれ、たくさんの方の笑顔から感激・感動をいただきました。交流会場へのバス輸送も順調に進み、2つの交流会も盛大に行うことができました。翌日、エクスカージョンのすべてのコース担当者から無事終了した連絡を受け、初めて「終わった」とほっとしました。大会に関わった多くの会員の皆様、本当にお疲れさまでした。

事務局長 加藤 繁治



皆様、ご参加ありがとうございました。次は島根でお会いしましょう！



設計 & 監理

株式会社 柴 建築設計事務所

水戸市泉町3-1-28 第二中央ビル7階

TEL.029-227-0222[代]

FAX.029-231-0960



ひたちなか市立那珂湊第二小学校 (夕景)



社団法人
茨城県建築士会

<http://homepage1.nifty.com/ishikai/>